

# 平成21年度施政方針

3月9日、平成21年第1回対馬市議会定例会が開かれ財部市長が、今年度の施政方針を説明しました。

平成20年3月に市民の皆様から負託を受け、皆様のご期待と、ご信頼に応えるべく、協働型市政への改革と創造への挑戦精神のもと、市民皆様の声に真剣に耳を傾け、無我夢中で市政に取り組んできました。

しかし、予想以上に厳しい本市の財政事情を直視し、行財政改革を進めてきた結果、皆様にも様々な形で改革の痛みをもたらすことになり、心を痛めてきたところでもありません。しかしながら、市民の皆様にご理解をいただいたおかげで、確実に財政健全化の道を歩みつつあることは確かであり、一定の成果を上げてきたと確信しているところでもあります。

本市の平成21年度の予算編成につきましては、政府予算の基本的な考え方や地方財政収支見通しの概要等を踏まえ、

対馬市独自の施策を限られた財源の中、可能な限り取り入れたものとしております。

本市を取り巻く社会経済環境や財政状況は、依然として厳しいものがありますが、本来の対馬の有り様や将来のあるべき姿に思いを馳しながら市民の皆様と一緒に、英知を結集して、創意工夫を重ねていくことが、「元氣な対馬づくり」を実現する唯一の方法だと考えております。



## 創造的な産業と次世代の担い手を育む人とまち

地場産業の振興と観光との連携、商業集積の高度化・魅力向上、U・イターン等の定住化対策の促進を重点施策とし、産業基盤整備のための林道開設事業、漁港・漁場整備事業、港湾整備事業等各産業の基盤施設整備の充実を図ります。

水産資源の管理と継続的な利用を図るための磯焼け対策事業、種苗放流事業、また、有害鳥獣から農林産物の被害防止等を図る有害鳥獣被害防止対策など集落ぐるみでの総合的な対策を進めます。

定住化対策の促進では、漁業に就業する意欲のあるものを育成する21世紀の漁業担い手確保推進事業、島外転出者の呼び戻しを含めた本市へのU・イターンを促進するため、希望者に対する島内視察や体験ツアー等の田舎暮らし促進事業等を支援します。

地域経済の活性化や若者の島内定住、新たな雇用の創出等を促進するため、企業誘致

の取り組みを行っているところですが、引き続き誘致を進めていく必要があります。また、昨年度からコミュニケーションビジネス振興補助金交付制度により、新規の起業支援に取り組みしておりますが、新たに新規ビジネス応援事業を設け制度を拡充し、旧来からの対馬の産業構造の転換を促すように努めてまいります。

## 豊かな自然との調和を図り、地球環境にやさしい人とまち

かけがえのない自然環境の保全、資源循環型社会の構築、自然を活かした生活環境の魅力化を重点施策とし、海山等の自然環境を保全する活動を推進するために、日韓大学生地域のボランティア等の参加をいただいで実施している漂着ゴミ海岸清掃等に係る事業を今年度も実施してまいります。

今日の環境問題は、地球温暖化といった地球規模の問題から、ゴミ問題や大気汚染といった身近な問題にまで広がっております。今年度も引き続き、資源循環型社会の構

築を図るため、合併処理浄化槽及び生ゴミ堆肥化容器設置に対する助成を行います。さらに来年度を「カーボンオフセット事業」元年と位置づけ、将来にわたって対馬全体で実施していくため事業趣旨の啓発を始め推進を図り、オフセットの相手方となる島外企業などに働きかけていく所存です。

本市には、全国にも類を見ない自然が豊富に残されており、国の天然記念物に指定されているツシマヤマメコやヒトツバタゴ等をはじめ、対馬でしか見ることのできない野生動植物の保護に向けて、市民、対馬野生生物保護センターと連携し、保護啓発活動を推進する必要があります。

## 固有の歴史文化を発信し、交流の活発な人とまち

韓国をはじめとする東アジア都市との国際交流の促進、独自の地域資源を活かした交流人口の拡大、広域交流を支える交通アクセスの強化を重点施策とし、島内外の広域的な交流活動の促進や国境を越

えた文化交流を充実するため  
に、影島区との行政交流を  
実施するとともに、対馬アリ  
ラ祭り、国境マラソン、ちん  
ぐ音楽祭を始め、ホームステ  
イ等交流事業、日韓交流教育  
促進事業、離島留学生ホーム  
ステイ事業等を支援してい  
ます。また、街なみ環境整  
備、まちづくり交付金事業に  
よる市街地道路の美装化、観  
光情報システム整備等の観光  
客受け入れ体制の基盤整備を  
行い、シーカヤックマラソン  
開催などの自然体験型観光を  
推進してまいります。さらに  
平成21年度第七回補正予算に  
計上し今年度から着手します  
「まちなか推進事業」を積極  
的に活用すべく対象地域と協  
議に入ります。

**地域が連携して支える教育  
文化の充実した人とまち**

安心して学べる学校教育環  
境の構築、地域資源を活かし  
た生涯学習の充実、芸術・文  
化活動の振興を重点施策とし、  
豊かな心や確かな学力を育む  
教育体制を構築するための総  
合学習事業、心の教室相談員

事業等を実施します。また、  
学校図書の実、教育用パソ  
コン更新等教育施設の充実・  
整備を図ります。

安心安全な子供の活動拠点  
を設け、地域の皆さんの参画  
を得て文化活動、交流活動を  
推進しております放課後子ど  
も教室推進事業を今年度も実  
施してまいります。

芸術文化活動の振興を図る  
ために、文化施設の充実と生  
涯学習や地域づくり活動を積  
極的に支援して行く必要があ  
ります。つしま図書館を地域  
の情報発信基地として充実に  
するための図書、視聴覚備品等  
の整備、また、一流の芸術・  
文化に触れる機会を提供する  
公演事業、青少年劇場開催事  
業等を実施してまいります。

**思いやりと健やかさを育  
む健康・福祉の人とまち**

医療・救急体制の充実、保  
健・福祉サービスの充実、ス  
ポーツ・健康増進施設の充実  
住民の社会参加支援システム  
の構築を重点施策としており  
ます。

本年度においては、次世代

育成支援対策の後期行動計画  
策定年度にあたり、より地域  
の実情に即した子育て支援計  
画を策定いたします。

また、併せて地域における  
子育て支援の拠点となる施設  
を上対馬・豊玉地域に設置す  
ることといたしております。

また、公立病院は地域にお  
ける基幹的な公的医療機関と  
して地域医療の確保に重要な  
役割を果たしております。必  
要な医療を安定的に提供して  
いくため、長崎県病院企業団  
病院、診療所の機能分担・強  
化に努めてまいります。

急速な高齢化の進展や疾病  
構造の変化に伴い、健康の増  
進の必要性が著しく増加して  
おります。このため、市民の  
健康を守る環境づくりを推進  
するため「健康対馬21」計画  
の実施に努めてまいります。

保健・福祉サービスの支援  
につきましましては、妊婦母子健  
診に対する助成を五回から十  
四回へと、拡大を予定してお  
り、少子化対策として積極的  
な取り組みを行ってまいりま  
す。また、予防接種事業にお  
いて、本年度から日本脳炎の  
予防接種を追加することにい

たしてあります。

そのほか、市民の健康増進  
のために、スポーツ・健康増  
進施設の充実とスポーツ振興  
事業の支援、住民の社会参加  
支援システムの構築、地域福  
祉ネットワーク事業、福祉の  
まちづくり推進事業、シルバ  
ー人材センターの運営、放課  
後児童健全育成事業等を支援  
してまいります。

**快適な暮らしを支える生  
活基盤の整った人とまち**

身近な道路交通ネットワー  
クの整備促進、安全で質の高  
い住環境の整備、地域情報通  
信ネットワークの構築を重点  
施策としてまいります。

道路交通ネットワークの構  
築につきましましては、市民の要  
望も強いところでありまして、  
国・県道の整備を始め、島内  
をスムーズに移動できる道路  
交通の整備を促進します。ま  
た、島内交通の利便性を確保  
するため、公共交通機関のあ  
り方を検討しており、昨年度  
からスクールバスの空き時間  
を活用して、路線バスに替え  
て市営バスを二路線運行して

おりますが、今年度から、新  
たに一路線を追加しておりま  
す。

さらに地域公共交通のあり  
方を大胆に転換せねば住民の  
足の確保が難しい状況に追い  
込まれていますので路線ごと  
の代替手段の可能性を模索す  
る「地域公共交通総合連携計  
画策定事業」に取り組みます。

安全で質の高い住環境の整  
備を図るため、市営住宅の維  
持補修、北部地区斎場建設事  
業、また、安全・安心のまち  
づくりのための急傾斜地崩壊  
対策事業、公共建築物耐震診  
断調査事業を推進してまいり  
ます。

市内全域を網羅する地域情  
報ネットワークの構築を図り、  
市民が均しく情報を共有する  
ためのCATV整備事業を進  
めてまいります。

暫定的ではありますが、工  
事の完了した地区から逐次、  
市の有線テレビ放送を受信で  
きるようにしております。市  
民の誰もが最先端の情報通信  
を手軽にいつでも利用できる  
よう、平成22年4月の全面開  
局に向けて事業を推進してい  
るところであります。